注3

大学番号:私立181

[平成30年度設置]

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



愛知大学 文学部 心理学科 ^{注2}

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 愛知大学 令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画部企画課

職名・氏名 課長・高橋正樹

教学企画係長·尾崎貴俊

電話番号 052-937-8163

(夜間) 052-937-8111

F A X 052-937-8215

e — mail kikaku@ml.aichi-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・ 短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

< 1)理学科>	ペーシ	Ï
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	7
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	8
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	9
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 4	3
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 4	4

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 愛知大学

- (2) 大 学 名 **愛知大学**
- (3) 調査対象大学等の位置

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町字町畑1番地の1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(カワイ シンイチ)	(カワイ シンイチ)	理事長について、改選が
	川井 伸一	川井 伸一	あり、令和元年11月15日
	(平成27年11月15日)	(令和元年11月15日)	付で再任した(2)
学長	(カワイ シンイチ)	(カワイ シンイチ)	学長について、改選があ
	川井 伸一	川井 伸一	り、令和元年11月15日付
	(平成27年11月15日)	(令和元年11月15日)	で再任した(2)
学 部 長	(ヒグチ ヨシハル)	(ヤマダ クニアキ)	学部長について、改選が
	樋口 義治	山田 邦明	あり、令和2年4月1日付
	(平成27年4月1日)	(令和2年4月1日)	で就任した(2)
学科長等		(カマクラ トシミツ) 鎌倉 利光 (平成30年4月1日)	未定としていた学科長に ついて、平成30年4月1日 付で就任した(30)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元) 令和2年度に報告する内容 → (2)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等 (5)

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試 区分ごとではありません)。
 - <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u>
 - 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる 「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
文学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	年 4	55	年次 人 一	220	

- 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。

 - 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和 2	2 年度	令和	3年度	令和	4 年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区	分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	の平均入学定 員超過率	VĦ	73
		55人	一人	55人	一人	55人	一人			7	,				
A	A 入学定員	(-	-) -]	-)	-) -]	(- [-	-) -]	()	([)			文学部では、試と学科・コを併用してお	ース別入試 り、学部全
	志願者数	418 (–) [–]	(-) [-]	608 (-) [-]	(-) [-]	660 (-) [-]	- (-) [-]	()	()	()	()			体入試で入学は、1年次では 人文社会学科 2年次進級時間	は便宜的に に所属し、
	受験者数	406 (–) [–]	- (-) [-]	582 (-) [-]	- (-) [-]	645 (-) [-]	- (-) [-]	()	()	()	()	0. 64倍	倍	攻別振り分け 理学専攻とな 理学科所属と	を行い、心 る学生は心 なり、心理
	合格者数	149 (–) [–]	- (-) [-]	208 (-) [-]	- (-) [-]	276 (-) [-]	- (-) [-]	()	()	()	()			学科入学定員 す予定。令和 部全体入試結 通りとなる。	2年度の学
Е	3 入学者数	31 (–) [–]	- (-) [-]	26 (-) [-]	(-) [-]	49 (-) [-]	- (-) [-]	()	()	()	()			志願者数:47 受験者数:45 合格者数:22	6 人 2 人
入	、学定員超過率 B/A	0.	56	0.	47	0.	89							入学者数:12	4 人

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行って いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には 「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている 場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>して ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象	年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和:	2 年度	令和	13:	年度	令	和4	4 年	度	備考
学年	/	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入	学そ	の他の学期	春季,	入学	その	他の学期	,,,, J
		31	-	26	-	51	-								・令和元年度春季入学2年次57名の内、26名は転入学生
1 年次		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[] []]]	[]	・令和2年度春季入学2年次57名の内、34名は転入学生 ・令和2年度春季入学3年次60名の内、26名は転入学生
		(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	()		()					・令和2年度春季入学3年次60名の内、3名は編入生
				57	-	57	-								
2 年次		/		[3]	[-]	[2]	[-]	[] []]]	[]	
				(-)	(-)	(-)	(-)	()		()	()	()	
						60	-								
3 年次		/		/		[3]	[-]	[] []	[]	[]	
			_		_	(-)	(-)	()		()	()	()	
4 年次				/		/		[] []]]	[]	
								() ()	()	()	
		3	31	8	3	10	68								
計		[-	-]	[;	3]	[:	5]	[]	[]	
		(-	-)	(-	-)	(2)	()	()	

- ·令和2年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ () 内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「-」を記入</u>してください。

 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、 $\underline{\mathbf{64 er}$ $\underline{\mathbf{64 er}}$ $\underline{\mathbf{64 er}}$ $\underline{\mathbf{66 er}}$

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	内訳 退学	者数うち留学生数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
平成30年度	31 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	02 1	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
节和 无平度	83 人	0 人	令和元年度	0人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和2年度	168 人	1 人	令和元年度	1人	0 人	他の教育機関への転学(1名)
			令和2年度	0 人	0 人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
אָרִיךְ טווינון	,		令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		1 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) 0 % 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 0 % 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) 0.59 % 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b) 0 #DIV/0! % 【令和4年度】 令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b) #DIV/0!

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<文学部 心理学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

和口			配当		単位数					の配		兼任	科目	-		配当		单位数					の配		
科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	科日 区分		授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	1
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	╧
		Communicative English I	1前	1								2			Communicative English I	1前	1								Ī
		Communicative English II	1後	1								2			Communicative English II	1後	1								ı
		Reading I	1前	1								5			Reading I	1前	1								ı
		TOEIC	1後	1								5			TOEIC	1後	1								ı
		Practical English I	2前	1								8			Practical English I	2前	1								ı
		_	2後	-	1							8			Practical English II		4								ı
		_		_	'							-			_										ı
	-	Reading II	2前	1								5			Reading II	2前	1								
	語	ReadingⅢ	2後		1							5		語	ReadingⅢ	2後	1								
		Current English I	2前		2							1			Current English I	2前		2							
		Current English II	2後		2							1			Current English II	2後		2							
		Communication Skills I	1-2-3-4		2							1			Communication Skills I	1-2-3-4		2							
		Communication Skills II	1-2-3-4		2							1			Communication Skills II	1-2-3-4		2							
		Communication Skills III	1-2-3-4		2							1			Communication Skills III	1-2-3-4		2							
		Communication SkillsIV	1-2-3-4		2							1			Communication SkillsIV	1-2-3-4		2							4
		入門中国語 I	1前		1		2					4			入門中国語 I	1前		1		2					
		入門中国語Ⅱ	1後		1		2					4			入門中国語Ⅱ	1後		1		2					
		基礎中国語 I	1前		1		2	l		1		4			基礎中国語 I	1前		1		2			1		ı
		基礎中国語Ⅱ	1後		1		2		ĺ			4			基礎中国語Ⅱ	1後		1		2		ĺ		ĺ	
		応用中国語I	2前		1		1		ĺ			3			応用中国語I	2前		1		1		ĺ		ĺ	
		応用中国語Ⅱ	2後		1		1		ĺ			3			応用中国語Ⅱ	2後		1		ľ		ĺ		ĺ	
							l '					٠,							ĺ	Ι'				ĺ	
	中	総合中国語Ⅰ	2前		1			l		1		1		中	総合中国語I	2前		1					1		
	国	総合中国語Ⅱ	2後		1							1		国	総合中国語 Ⅱ	2後		1							
	語	中国語会話(初級) I	1前		1							1		語	中国語会話(初級) I (未開購)	1前		1							
		中国語会話(初級)Ⅱ	1後		1							1			中国語会話(初級) II (未開講)	1後		1							
		中国語会話(中級) I	2前		1							1			中国語会話(中級) [(未開講)	2前		1							
		中国語会話(中級)Ⅱ	2後		1							1			中国語会話(中級) II (未開業)	2後		1							
		コミュニケーション中国語 I A	3前		2							1			コミュニケーション中国語 I A(未開請)	3前		2							
ы													外												
国		コミュニケーション中国語IB	3後		2							!	国		コミュニケーション中国語 I B (未開除)	3後		2							
語		コミュニケーション中国語IA	3前		2							1	語		コミュニケーション中国語 II A	3前		2							
外国語分野		コミュニケーション中国語IB	3後		2							1	分		コミュニケーション中国語 II B	3後		2							
野		入門フランス語 I	1前		1							1	野		入門フランス語 I	1前		1							
		入門フランス語 Ⅱ	1後		1							1			入門フランス語 Ⅱ	1後		1							
		基礎フランス語 I	1前		1							3			基礎フランス語 I	1前		1							
		基礎フランス語 Ⅱ	1後		1							3			基礎フランス語 Ⅱ	1後		1							
		応用フランス語I	2前		1							2			応用フランス語I	2前		1							
		応用フランス語Ⅱ										_													
	_		2後		1							2		_	応用フランス語Ⅱ	2後		1							
	フニ	総合フランス語 I	2前		1							1		フ	総合フランス語 I	2前		1							
	ラ、	総合フランス語 Ⅱ	2後		1							1		ラ	総合フランス語 Ⅱ	2後		1							
	Ź	フランス語会話(初級) [1前		1							1		l ス	フランス語会話(初級) I	1前		1							
	語	フランス語会話(初級)Ⅱ	1後		1							1		語	フランス語会話(初級)Ⅱ	1後		1							
		フランス語会話(中級) I	2前		1							1			フランス語会話(中級) I	2前		1							
		フランス語会話(中級) II			1							1			フランス語会話(中級) II			1							
								l		1		<u>'</u>											1		ı
		コミュニケーションフランス語 I A			2			l		1		1			コミュニケーションフランス語 I A			2					1		
		コミュニケーションフランス語 IB	3後		2			l		1		1			コミュニケーションフランス語 IB	3後		2					1		
		コミュニケーションフランス語 🛚 A	3前		2			l		1		1			コミュニケーションフランス語 🛚 A	3前		2					1		
		コミュニケーションフランス語 IB	3後		2							1			コミュニケーションフランス語 IIB	3後		2							
	Ī	入門ドイツ語 I	1前		1							1			入門ドイツ語 I	1前	-	1							I
		入門ドイツ語 Ⅱ	1後		1			l		1		1			入門ドイツ語 Ⅱ	1後		1					1		
		基礎ドイツ語 I	1前		1				ĺ			2			基礎ドイツ語 I	1前		1		I		ĺ		ĺ	
		基礎ドイツ語Ⅱ	1後		1							2			基礎ドイツ語Ⅱ	1後		1	ĺ					ĺ	
															を使いている。 応用ドイツ語 I				ĺ					ĺ	
	٠.	応用ドイツ語I	2前		1							2		۲		2前		1	ĺ					ĺ	
		応用ドイツ語Ⅱ	2後		1							2		1	応用ドイツ語Ⅱ	2後		1	ĺ					ĺ	
	ツ	総合ドイツ語 I	2前		1			l		1		1		ツ	総合ドイツ語 I	2前		1					1		
	語	総合ドイツ語 Ⅱ	2後		1			l		1		1		語	総合ドイツ語 Ⅱ	2後		1					1		
		ドイツ語会話(初級) I	1前		1			l		1		1			ドイツ語会話(初級) I	1前		1					1		
		ドイツ語会話(初級)Ⅱ	1後		1			l		1		1			ドイツ語会話(初級)Ⅱ	1後		1					1		
		ドイツ語会話(中級) I	3前		1			l		1		1			ドイツ語会話(中級) I	3前		1					1		
		ドイツ語会話(中級)Ⅱ						l		1													1		
			3後		1				_	-		1	\vdash	_	ドイツ語会話(中級)Ⅱ			1				_	-		4
		入門ロシア語Ⅰ	1前		1			l		1		1			入門ロシア語Ⅰ	1前		1					1		
		入門ロシア語Ⅱ	1後		1							1			入門ロシア語Ⅱ	1後		1	ĺ					ĺ	
		基礎ロシア語 I	1前		1							1		П	基礎ロシア語 I	1前		1	ĺ					ĺ	
		基礎ロシア語 Ⅱ	1後		1			l		1		1		シ	基礎ロシア語 Ⅱ	1後		1					1		
	ァ	応用ロシア語 I	2前		1			l		1		1		ァ	応用ロシア語 I	2前		1					1		
										1		1		語	応用ロシア語Ⅱ	2後		1			1	l	1		
	語	応用ロシア語 Ⅱ	2後		1							1 .		нн	心・田 口・ノ と = ユ !										

韓国・朝鮮語 ポルトガル語 日本語 外	応用韓国朝鮮語I 総合韓国・朝鮮語I 入門ポルトガル語I 入門ポルトガル語I 基礎ボルトガル語I 日本語・強大技術(応用)I 日本語・論文技術(応用)I 日本語・論文技術(応用)I 日本語・論文技術(応用)I 日本語・論文大統(応用)I アカデネスス日語 I ビジアの日本語 I ビジアの言語 I 世界の言語 I	2111112222211111111111222233333322億前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1			韓国・朝鮮語ポルトガル	総合ロシア語 I 人門韓国・朝鮮語 I 人門韓国・朝鮮語 I 人門韓国・朝鮮語 I 基礎韓国・朝鮮語 I 基礎韓国・朝鮮語 I 本応 内韓国・朝鮮語 I 水合韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 松合韓国・初ル語 I 入門ポルトガル語 I 人門ポルトガル語 I 基礎ポルトガル語 I	2後 1 1 1 1 2 2 2 前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
・国・朝鮮語 ポルトガル語 日本語	入門韓国・朝鮮語II 基礎韓国・朝鮮語II 応用韓国国・朝鮮語II 応用韓国国・朝鮮語II 入門礎ポルトガル店語II 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本本語・論主技術(を)I 日本語 I ビジジの日本語 I ビジジの語 I 世界のの語 I	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 3 3 3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							2 2 1 1 1 1 1 1 1 1			:国・朝鮮語 ポルトガ	入門韓国・朝鮮語I 基礎韓国・朝鮮語I 基礎韓国・朝鮮語I 応用韓国・朝鮮語I 応用韓国・朝鮮語I 総合韓国・朝鮮語I 総合韓国・朝鮮語I 総合韓国・初ル語I 入門ポルトガル語I 入門ポルトガル語I	1後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後	1 1 1 1 1 1 1 1 1							
・国・朝鮮語 ポルトガル語 日本語	基礎韓国 朝鮮語II 応用韓国・朝鮮語II 応用韓国・朝鮮語II 応用韓国・朝鮮語II 和 記述 中華国・朝鮮語II 入門ポポルトガル語II 日本語・論文技術に応聞 日本本語・論文技術は、応応語II 日本本語・論文文クロ本語II 日本本語・論文文クロ本語 II ビジテンススコー語 II ビジテンススコー語 II ビジアの言II ビザ界の語II 世界の語II サテンデススコー語 II ビザアン語 II 世界の語II ビザアン語II	11222221111111111122223333333333333	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							2 1 1 1 1 1 1 1 1			:国・朝鮮語 ポルトガ	基礎韓国・朝鮮語 I 基礎韓国・朝鮮語 I 応用韓国・朝鮮語 I 応用韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 総合韓国・初ル語 I 入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 I	1前後 10 20 20 20 20 20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	1 1 1 1 1 1 1 1							
「・朝鮮語 ポルトガル語 日本語	基礎韓国・朝鮮語II 応用韓国・朝鮮語II 応用韓国・朝鮮語II 配用韓国・朝鮮語II 和子神郎 中華	1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							2 1 1 1 1 1 1 1 1			・朝鮮語 ポルトガ	基礎韓国・朝鮮語 II 応用韓国・朝鮮語 II 応用韓国・朝鮮語 II 総合韓国・朝鮮語 II 総合韓国・朝鮮語 II 総合韓国・初此語 II 入門ポルトガル語 II 入門ポルトガル語 II	1後 2前 2後 2前 2後 1前 1後	1 1 1 1 1 1 1							
鮮語 ポルトガル語 日本語	応用韓国・朝鮮語II 総合韓国・朝鮮語II 総合韓国・朝鮮語II 総合韓国・朝鮮語II 入門門礎ポルトガル語II 日本語・論文技術(応信語・経典)II 日本語・論文技術(本語・論文技術(本語 II 日本語・論文技術(本語 II 日本語・論文技術(本語 II 日本語・論文技術(本語 II アカデディスス 言言語・アカデディスス 言言語 II ビジアの語 I 世界のの語 I	22221111111111122233333333333333333333	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1 1 1 1 1 1 1			鮮語 ポルトガ	応用韓国・朝鮮語 I 応用韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 I	2前 2後 2前 2後 1前 1後	1 1 1 1 1 1							
鮮語 ポルトガル語 日本語	応用韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 入門ポルトガル語 I 基礎 本語・強大技術(基礎) I 日本語・論文技術(本語 I 日本語・論文技術(本語 I 日本語・論文大統(本語 I アカデミック日本語 I ビジジャのの言語 I ビザ界の語 I 世界の語 I サテンディスス I 世界の言語 I ビザアの語 I	2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1 1 1 1 1 1 1			鮮語 ポルトガ	応用韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 I	2後 2前 2後 1前 1後	1 1 1 1 1							1 1 1
語 ポルトガル語 日本語	総合韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 I 入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 I 基礎本語・義現 I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文力日本語 I アカデミック日本本語 I ビジネスス言語 I ビザ界の語 I 世界の語 I	2前後前後前後前後前後前後前後前後前後	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1 1 1 1 1 1			語 ポルトガ	総合韓国・朝鮮語 I 総合韓国・朝鮮語 II 入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 II	2前 2後 1前 1後	1 1 1 1							1 1
ルトガル語 日本語	総合韓国・朝鮮語 入門ポルトガル語 入門ポルトガル語 基礎ポルトガル語 日本語・論文技術(基礎) 日本語・論文技術(基礎) 日本語・論文技術(基礎) 日本語・論文技術(本語) 日本語・論文技術(本語) 日本語・論文技術(本語) 日本語・論文技術(本語) 「アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 世界の言語	2後 11 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2							1 1 1 1 1 1			ルトガ	総合韓国・朝鮮語 II 入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 II	2後 1前 1後	1 1 1 1							1 1
ルトガル語 日本語	入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 I 基礎ポルトガル語 I 基礎ポルトガル語 I 日本語・表現 I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応語 I アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言 I	1前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2							1 1 1 1			ルトガ	入門ポルトガル語 I 入門ポルトガル語 II	1前 1後	1 1 1							1
ルトガル語 日本語	入門ポルトガル語 I 基礎ポルトガル語 I 基礎ポルトガル語 I 日本語・表現 I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I 世界のデミック日本語 I ビジネスス日本語 I ビジネスス日語 I 世界の言語 I 世界の言語 I サ界の言語 I サテン語 I	1後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2							1 1 1			ルトガ	入門ポルトガル語Ⅱ	1後	1							1
ガル語 日本語	基礎ポルトガル語 I 基礎ポルトガル語 I 日本語・表現 I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I ビジネス 日本語 I ビジネス 日本語 I ビジネ アラデミック I 世界の言語 I 世界の言語 I 世界の言語 I サアン語 I	1前後 1前後 1前後前後前後前後 22 3前後 33 33 33	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2							1 1			ガ			1							1
ル語 日本語	基礎ポルトガル語I 日本語・表現I 日本語・漁文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I 世界の言語 I	1後 1前後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1 3 3 3 3 3 3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2							1				を使ハルドカル記 I	I HIJ								1
日本語	日本語・表現 I 日本語・表現 I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I サアン語 I	1前後 1前後前 20 20 20 20 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2							1				基礎ポルトガル語 Ⅱ	1後	1							Ī
本語	日本語・表現 II 日本語・論文技術(基礎) II 日本語・論文技術(基礎) II 日本語・論文技術(基礎) II 日本語・論文技術(応用) II 日本語・論文技術(応用) II アカデミック日本語 II アカデミック日本語 I ビジネス日本語 II ビジネス日本語 II 世界の言語 II 世界の言語 II 世界の言語 II サアン語 II	1後 1前 2 2 2 3 3 3 3 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3	1 1 1 1 1 1 1 2 2										語	日本語·表現 I	1前	1							
本語	日本語・論文技術(基礎) II 日本語・論文技術(基礎) II 日本語・論文技術(基礎) II 日本語・総合 II 日本語・論文技術(応用) II 日本語・論文技術(応用) II アカデミック日本語 II アカデミック日本語 I ビジネス日本語 II ビジネス日本語 II 世界の言語 II 世界の言語 II 世界の言語 II サアン語 II	1前 2前 2前 2前 2後 3前 3後 3前 3後	1 1 1 1 1 1 2 2								#	外		日本語・表現Ⅱ	1後	1							H
本語	日本語・論文技術(基礎) II 日本語・総合 II 日本語・総合 II 日本語・論文技術(応用) II 日本語・論文技術(応用) II アカデミック日本語 II ビジネス日本語 II ビジネス日本語 II 世界の言語 II 世界の言語 II サテン語 I	1後 2前 2後 2前 2後 3前 3後 3前 3後	1 1 1 1 2 2							1	共通	国		日本語・論文技術(基礎) I	1前	1							١.
本語	日本語・総合 I 日本語・総合 I 日本語・編文技術(応用) I 日本語・編文技術(応用) I アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I 世界の言語 I	2前 2後 2前 2後 3前 3後 3前 3後	1 1 1 1 2 2							1	教	[語		日本語·論文技術(基礎) II	1後	1							١.
本語	日本語・総合 II 日本語・論文技術(応用) II 日本語・論文技術(応用) II アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I サテン語 I	2後 2前 2後 3前 3前 3前 3後	1 1 1 2 2							1	育	分野		日本語·総合I	2前	1							L
語	日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) I アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I 世界の言語 I	2前 2後 3前 3後 3前 3後	1 1 2 2							1	科目		日	日本語・総合Ⅱ	2後								L
	日本語・論文技術(応用) II アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I サテン語 I	2後 3前 3後 3前 3後	1 2 2							1	- -		本	日本語・論文技術(応用) I	2前	1							١.
外	アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I サアン語 I	3前 3後 3前 3後	2 2							1			語	日本語・論文技術(応用)Ⅱ	2後	1							L
外.	アカデミック日本語 I ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I 世界の言語 I ラテン語 I	3後 3前 3後	2							1				アカデミック日本語Ⅰ	3前	2							١.
外.	ビジネス日本語 I ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I フテン語 I	3前 3後								1				アカデミック日本語Ⅱ	3後	2							l
外	ビジネス日本語 I 世界の言語 I 世界の言語 I ラテン語 I	3後	4							1				ビジネス日本語Ⅰ	3仮 3前	2							l
外	世界の言語 I 世界の言語 II ラテン語 I		2							1				ビジネス日本語Ⅱ	3後	2							١.
外	世界の言語 II ラテン語 I	4 11 11	2	-1						2			-	世界の言語Ⅰ	2前	2	\vdash	1					- 2
外	ラテン語 I	2後	2							2				世界の言語Ⅰ	2削 2後	2							2
外		21友 2·3·4	2							1				世外の言語ュ ラテン語 I	21友 2·3·4	2							ľ
外	- , - HH	2.3.4	2							1				ラテン語Ⅱ	2.3.4	2							1
外	ギリシャ語 I	2.3.4	2							1				デリシャ語 I	2.3.4	2							l
ሃ ኑ		2.3.4	2							1			j.,J	ギリシャ語Ⅱ	2.3.4	2							١.
国	海外セミナー I	1-2-3-4	2		1					•			外国	海外セミナー I	1-2-3-4	2		1					1
理	海外セミナーⅡ	1-2-3-4	2		1								理	海外セミナーⅡ	1-2-3-4	2		1					
解		1-2-3-4	2		1								解	海外セミナーⅢ	1-2-3-4	2		1					
	海外セミナーⅣ	1-2-3-4	2		1									海外セミナーⅣ	1-2-3-4	2		1					
	外国理解 I	1-2-3-4	2		1									外国理解 I	1-2-3-4	2		1					
	外国理解Ⅱ	1-2-3-4	2		1									外国理解Ⅱ	1-2-3-4	2		1					
		1-2-3-4													1-2-3-4								
		1-2-3-4			1										1-2-3-4			1					
		1-2-3-4								1		—			1-2-3-4								t
		1-2-3-4								1					1-2-3-4								L
	確率入門	1-2-3-4								1					1-2-3-4								l
7	統計入門	1-2-3-4								1		ž	∀	統計入門	1-2-3-4								L
Ì	情報倫理	1-2-3-4								1			_	情報倫理	1-2-3-4								
	マルチメディア表現	1-2-3-4	2							2		١.		マルチメディア表現	1-2-3-4	2							L
		1-2-3-4	2							1					1-2-3-4	2							l
															1-2-3-4								l
ř		1-2-3-4								2					1-2-3-4								L
		1-2-3-4								1				情報の科学	1-2-3-4								l
		1-2-3-4								1					1-2-3-4								l
	情報総合演習	1-2-3-4	2							2				情報総合演習	1-2-3-4	2							4
	物質の科学	1-2-3-4	2						一	1				物質の科学	1-2-3-4	2							h
	地球の科学	1-2-3-4	2							1				地球の科学	1-2-3-4	2							l
	宇宙の科学	1-2-3-4	2							1				宇宙の科学	1-2-3-4	2							l
	生命の科学	1-2-3-4	2							1				生命の科学	1-2-3-4	2							l
	環境の科学	1-2-3-4	2							1				環境の科学	1-2-3-4	2							l
	科学技術史	1-2-3-4	2							1				科学技術史	1-2-3-4	2							l
	現代技術と社会	1-2-3-4	2							1				現代技術と社会	1-2-3-4	2							1
<u> </u>	地球環境問題	1-2-3-4	2							2		1 2	J 字	地球環境問題	1-2-3-4	2							1 2
•	自然環境と地理	1-2-3-4	2							1		1		自然環境と地理	1-2-3-4	2							l
	動物行動学	1-2-3-4	2			1								動物行動学	1-2-3-4	2							ŀ
	健康科学	1-2-3-4	2							1				健康科学	1-2-3-4	2							1
	スポーツ工学	1-2-3-4	2							1				スポーツ工学	1-2-3-4	2							1
	トレーニング科学	1-2-3-4	2							1				トレーニング科学	1-2-3-4	2							l
	歴史学	1-2-3-4	2	1						3				歴史学	1-2-3-4	2							4
	考古学	1-2-3-4	2							1				考古学	1-2-3-4	2							1
	地理学	1-2-3-4	2							2				地理学	1-2-3-4	2							2
	社会学	1-2-3-4	2							2				社会学	1-2-3-4	2							2
Ė	政治学	1-2-3-4	2							1				政治学	1-2-3-4	2							1
	経済学	1-2-3-4	2							1		3	4	経済学	1-2-3-4	2							Ŀ
ř	法学	1-2-3-4	2							1					1-2-3-4	2							
	経営学	1-2-3-4	2							1			•	経営学	1-2-3-4	2							1
	憲法学	1-2-3-4	2							1				憲法学	1-2-3-4	2							l
	レクリエーション論	1-2-3-4	2							1				レクリエーション論	1-2-3-4	2							l
	ジェンダー論	1-2-3-4	2							2	- 1	1					1						2
	哲学	1-2-3-4	7.									L	_		1-2-3-4	2	L	L			_	_	1
113个 多		外教教確統情マネ社プ情情情物地宇生環科現地自動健スト歴考地社政経法経憲レジ国国養理率計報ル外会口報報報質球等生環科現地自動健ストレ史古理会治済学営法リン里理数科入入倫チワデグのと総ののののの切技技環環行科ーニ学学学学学学学上の一解解学学門門理デークラ科社合科科科科科術術境境動学ソンデーーーの解学学学学学学学学学生と問と学 エグシニーーー はいい ア演析グ 習 会 理 学 学科 は 題地 学科 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別	12-34	外野田	外国理解IV 123-4 2 2 2 2 2 2 2 2 2	外国理解III 123-4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	外国理解IV	外国理解IV	外国理解IV	外国理解II	外国理解III 12-3-4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	外国理解III	外国理解Ⅲ	外国理解III	外国理解Ⅲ	外国理解Ⅲ	外国理解Ⅲ	外国理解Ⅲ 1954 2 1 1	外国理解Ⅲ	外国理解Ⅲ	外国理解II	外国理解T	外国理解Ⅲ

	必修	人文分录 卷合 体育分录计学	現代学学文化論日本学学、大学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	12234 12234 12234 12234 12234 12234 12234 12234 1234 1	2 2 8	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2	3		2 2 4 1 1 2 2 3 1 1 1 1 1 3 1 9 6 4	専	人文分野 総合 体育分野計 学部	現代の思想 民俗学 スポー事情 I 日本本学 語のと 日本語に 一 古言語 世 と 記言	122344 122344 122344 122344 122344 122344 122344 122344 1 後前:4 2:3:4 1 前 前 1 前 前	2 2 8	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 4 2	1		1
専門教育科目 一	学 音 選 折	邦建 兄 ふき 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	入門講義 歴史・地理学) 入門講義 (歴史・地理学) 入門講義 (田本語日本文学) 入門講義 (日本語日本文学) 入門講演習 (現代文化) 入門門演演習 (社会学)) 入門演演習 (日本語日本文学) 入門演習 (田本主語日本文学) 入門演習 (田本学学) 入門演習 (日本語日本文学) 入門演習 (日本語日本文学) 入門演習 (日本語日本文学) 入門演習 (日本語日本文学) 入門演習 (日本語日本文学) 入門演習 (日本語日本文学) 、		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2 2 1 1 1	3 3 3 3 1 1		6 2 3 3 4 3 2 2 1 1	専門教育科目	学部選択必修 学科必修	入門講義(心生学学) 入門講義(歴史・地理学学) 入門講義(原本書言語文化) 入門講義(欧米現代文化) 入門門演演習(社大学) 入門門演習(歴史・地理学学) 入門門演習(歴史・地理学学) 入門演習(日本語語記文化) 入門門演習(日本語語記文化) 入門門演習(日本語記記文化) 小理理学学文学 「心理理学学文化」 心理理学学文学表示。 心理理学学文学表示。 心理理学学文学表示。 心理理学学文学表示。 心理理学学文学表示。 心理理学学文学表示。 心理理学学文学表示。 心理理学学文学、 心理理学学文学、 心理理学学文学、 心理理学学文学、 心理理学学文学、 心理理学学文学、 心理理学学文学、 心理理学学文学、 心理理学学文学、 心理理学文学、 心理理演演習Ⅱ 心理理演習Ⅱ 心理理演習Ⅱ	1前前前後後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 1 4 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1		i
専門教育科目	学科選択	学科量尺	職健教生学産認応心心行社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2後 3 3 3 1 1 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1	1 1 1 2		1 1 1	専門教育科目	学科選択	知覚·認知和心心 學比臨発療療 理理學學學 人体育·組學會歷 學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1		1

科 目 合計	小計(5科目)	3削 -	2					科 目	3 小 計
連	英米の地域と文化 多文化共生論	2前 3前	2				1	連	英多
関	地域資源論	3前	2				1	関	坩
接	まちづくりとデータ分析	2前	2				1	接	ま

卒業要件及び履修方法

- (1) 共通教育科目 44単位以上 a 外国語分野 第1外国語8単位、第2外国語6単位、計14単位必修 b 数理·情報分野2単位、自然分野4単位、社会分野4単位、 人文分野4単位の計14単位必修
 - c bの各分野及び総合全体の中から計14単位必修
- d 体育分野 2単位必修 (2) 専門教育科目 62単位以上 a 学部必修 10単位必修 b 学部選択必修 4単位必修
 - c 学科必修 26単位必修 d 学科選択 10単位修得
 - e 学部選択必修、学科必修、学科選択、人文社会学科科目から
- (3) 共通教育科目、専門教育科目及び隣接・関連科目の中から 18単位以上

(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

接	まちづくりとデータ分析	2前	2				1
• 88	地域資源論	3前	2				1
関連	英米の地域と文化	2前	2				1
科	多文化共生論	3前	2				1
目	小計(5科目)	-					
수항	H (215科目)	_					

卒業要件及び履修方法

- (1) 共通教育科目 44単位以上 a 外国語分野 第1外国語8単位、第2外国語6単位、計14単位必修 b 数理·情報分野2単位、自然分野4単位、社会分野4単位、 人文分野4単位の計14単位必修

 - c bの各分野及び総合全体の中から計14単位必修
- d 体育分野 2単位必修 (2) 専門教育科目 62単位以上 a 学部必修 10単位必修 b 学部選択必修 4単位必修

 - c 学科必修 20単位必修 d 学科選択 24単位修得

 - e 学部選択必修、学科必修、学科選択、人文社会学科科目から
- (3) 共通教育科目、専門教育科目及び隣接・関連科目の中から 18単位以上

(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

【平成30年度】

【令和元年度】

Г			7	配	ĺ	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼			<u> </u>	配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・共	科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
			Communicative English I	1前	1								2			Communicative English I	1前	1								2
			Communicative English II	1後	1								2			Communicative English II	1後	1								2
			Reading I	1前	1								5			Reading I	1前	1								5
			TOEIC	1後	1								5			TOEIC	1後	1								5
			Practical English I	2前	1								8			Practical English I	2前	1								8
			Practical English II	2後	1								8			Practical English II	2後	1								8
		英	Reading II	2前	1								5			Reading II	2前	1								5
		語	ReadingⅢ	2後	1								5		語	ReadingⅢ	2後	1								5
			Current English I	2前		2							1			Current English I (未開講)	2前		2							1
			Current English II	2後		2							1			Current English II	2後		2							1
			Communication Skills I	1-2-3-4		2							1			Communication Skills I	1-2-3-4		2							1
			Communication Skills II	1-2-3-4		2							1			Communication Skills II	1-2-3-4		2							1
			Communication Skills III	1-2-3-4		2							1			Communication Skills III	1-2-3-4		2							1
			Communication SkillsIV	1-2-3-4		2							1		-	Communication SkillsIV	1-2-3-4		2		_					1
			入門中国語 I	1前		1		2					4			入門中国語 I	1前		1		2					4
			入門中国語Ⅱ	1後		1		2					4			入門中国語Ⅱ	1後		1		2					4
			基礎中国語 I 基礎中国語 II	1前 1後		1		2					4			基礎中国語 I 基礎中国語 II	1前 1後		1		2					3
			本使中国語 I 応用中国語 I			1		2					3			応用中国語 I										3 3
I			応用中国語Ⅰ	2前 2後		1				Ì			3			応用中国語Ⅰ	2前 2後		1							3
1			総合中国語 I	2版 2前		1							1			総合中国語I	2饭 2前									1
I		中	総合中国語 I	2削 2後		1				Ì			1		中	総合中国語Ⅱ	2削 2後									
I		玉	中国語会話(初級) I	2夜 1前		1				ĺ			1		国	中国語会話(初級) I	2夜 1前									
I		語	中国語会話(初級)Ⅱ	1後		1				ĺ			1		語	中国語会話(初級)Ⅱ	1後									
I			中国語会話(中級) I	2前		1				Ì			1			中国語会話(中級) I	2前		1							1
			中国語会話(中級)Ⅱ	2後		1							1			中国語会話(中級)Ⅱ	2後		1							
			コミュニケーション中国語IA	3前		2							1			コミュニケーション中国語IA	3前		2							
共	外		コミュニケーション中国語 I B	3後		2							1	共身	١.	コミュニケーション中国語IB	3後		2							1
进数	国		コミュニケーション中国語 II A	3前		2							1	型 教育		コミュニケーション中国語ⅡA	3前		2							1
育	国語分		コミュニケーション中国語 II B	3後		2							1	共通教育科	吾	コミュニケーション中国語ⅡB	3後		2							1
共通教育科目	野野		入門フランス語 I	1前		1							1	科里	子 子	入門フランス語 I	1前		1							1
I	_,		入門フランス語 Ⅱ	1後		1							1	目 *	1	入門フランス語 II	1後		1							1
			基礎フランス語 I	1前		1							3			基礎フランス語 I	1前		1							3
			基礎フランス語 Ⅱ	1後		1							3			基礎フランス語 Ⅱ	1後		1							3
			応用フランス語 I	2前		1							2			応用フランス語 I	2前		1							2
			応用フランス語 Ⅱ	2後		1							2			応用フランス語 Ⅱ	2後		1							2
		フ	総合フランス語 I	2前		1							1		フ	総合フランス語 I	2前		1							1
		ラ	総合フランス語 Ⅱ	2後		1							1		5	総合フランス語 Ⅱ	2後		1							1
		ンス	フランス語会話(初級) [1前		1							1		レス	フランス語会話(初級) Ι	1前		1							1
		語	フランス語会話(初級) II	1後		1							1		語	フランス語会話(初級) II	1後		1							1
			フランス語会話(中級) I	2前		1							1			フランス語会話(中級) Ι	2前		1							1
			フランス語会話(中級) Ⅱ	2後		1							1			フランス語会話(中級)Ⅱ	2後		1							1
			コミュニケーションフランス語 IA	3前		2							1			コミュニケーションフランス語 I A	3前		2							1
			コミュニケーションフランス語 IB	3後		2							1			コミュニケーションフランス語 I B	3後		2							1
			コミュニケーションフランス語 II A	3前		2							1			コミュニケーションフランス語 II A	3前		2							1
			コミュニケーションフランス語 IB	3後		2							1			コミュニケーションフランス語 IB	3後		2							1
I			入門ドイツ語 I	1前		1							1			入門ドイツ語 I	1前		1							1
1			入門ドイツ語 Ⅱ	1後		1							1			入門ドイツ語 Ⅱ	1後		1							1
I			基礎ドイツ語 I	1前		1				Ì			2			基礎ドイツ語 I	1前		1							2
I			基礎ドイツ語Ⅱ	1後		1				ĺ			2			基礎ドイツ語Ⅱ	1後		1							2
1		۴	応用ドイツ語Ⅰ	2前		1							2		ド	応用ドイツ語I	2前		1							2
I		1	応用ドイツ語Ⅱ	2後		1				Ì			2		1	応用ドイツ語Ⅱ	2後		1							2
I		ツ語	総合ドイツ語Ⅰ	2前		1				ĺ			1		ツ	総合ドイツ語 I	2前		1							1
I		ñΩ	総合ドイツ語 Ⅱ	2後		1				Ì			1		語	小のロハフロロ	2後		1							1
1			ドイツ語会話(初級) I	1前		1				Ì			1			ドイツ語会話(初級) I	1前		1							1
I			ドイツ語会話(初級)Ⅱ	1後		1				ĺ			1			ドイツ語会話(初級)Ⅱ	1後		1							1
I			ドイツ語会話(中級) I			1				Ì			1			ドイツ語会話(中級) I	3前		1							1
\vdash	Ш			3後		1							1	\vdash	\perp	ドイツ語会話(中級)Ⅱ	3後		1		_					1
I			入門ロシア語 I	1前		1				ĺ			1			入門ロシア語 I	1前		1							1
I			入門ロシア語Ⅱ	1後		1				Ì			1			入門ロシア語Ⅱ	1後		1							1
I			基礎ロシア語Ⅰ	1前		1				Ì			1			基礎ロシア語 I	1前		1							1
1		シア	基礎ロシア語Ⅱ	1後		1							1		シァ	基礎ロシア語Ⅱ	1後		1							1
1		ど語	応用ロシア語Ⅰ	2前		1				Ì			1		ア語	応用ロシア語 I	2前		1							1
I		니니	応用ロシア語Ⅱ	2後		1				ĺ			1		100	心のロンノ品エ	2後		1							1
I			総合ロシア語 I	2前		1				ĺ			1			総合ロシア語Ⅰ	2前		1							1
I			総合ロシア語 II	2後		1			<u> </u>				1		\vdash	総合ロシア語Ⅱ	2後		1		<u> </u>					1
I			入門韓国·朝鮮語 I	1前		1				ĺ			2			入門韓国·朝鮮語 I	1前		1							2
I		韓	入門韓国·朝鮮語 II			1				Ì			2		韓	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							2
I		国	基礎韓国·朝鮮語 I	1前		1				Ì			2		国	基礎韓国·朝鮮語I	1前		1							2
I		• 朝	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ			1				ĺ			2		朝	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							2
1		朝鮮	応用韓国·朝鮮語 I 応用韓国·朝鮮語 Ⅱ			1				Ì			1		射 鮮		2前		1							1
		w.L	Liac、中間151 • 明性重要 ∏	2/後	1	1	i l		Ì	1	I	Ì	1		===	応用韓国・朝鮮語 Ⅱ	2俊		1	1		I	1	1		1

ı		āп	総合韓国·朝鮮語 I	2前	1 1	1		Ī	l	l		1	I	l	Ē	¹ 総合韓国・朝鮮語 I	2前	1	ı	ı	1	l		1
			総合韓国·朝鮮語 II	2後		1						1				総合韓国•朝鮮語Ⅱ	2後	1						1
		ポル	入門ポルトガル語 I	1前		1						1			オ ル	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1前	1						1
		۲	入門ポルトガル語Ⅱ	1後		1						1			ŀ		1後	1						1
		ガル	基礎ポルトガル語Ⅰ	1前		1						1			ナル	本株パルドガル品 1	1前	1						1
		語	基礎ポルトガル語 II 日本語・表現 I	1後 1前		1						1			12	基礎ポルトガル語 II 日本語・表現 I	1後 1前	1		-				1
	外		日本語・表現Ⅱ	1後		1								外		日本語・表現Ⅱ	1後	1						
	国		日本語・論文技術(基礎) [1前		1						1		玉		日本語・論文技術(基礎) I	1前	1						1
	語分		日本語·論文技術(基礎) II	1後		1						1		語分		日本語·論文技術(基礎) II	1後	1						1
	野	_	日本語·総合 I	2前		1						1		野		日本語·総合I	2前	1						1
		日本	日本語・総合Ⅱ	2後		1						1			本	口本語 祝言 1	2後	1						1
共		語	日本語・論文技術(応用) I	2前		1						1	共		語	日本語・論文技術(応用) [2前	1						1
共通教			日本語・論文技術(応用)Ⅱ	2後		1						1	通			日本語・論文技術(応用)Ⅱ	2後	1						1
教育			アカデミック日本語 I アカデミック日本語 II	3前 3後		2						1	教 育			アカデミック日本語 I アカデミック日本語 II	3前 3後	2						
科			ビジネス日本語 I	3前		2						1	科			ビジネス日本語Ⅰ	3前	2						1
目			ビジネス日本語Ⅱ	3後		2						1	目			ビジネス日本語Ⅱ	3後	2						1
			世界の言語 I	2前		2						2				世界の言語 I	2前	2						2
			世界の言語Ⅱ	2後		2						2				世界の言語Ⅱ	2後	2						2
			ラテン語 I	2.3.4		2						1				ラテン語 I	2.3.4	2						1
			ラテン語 Ⅱ ギリシャ語 I	2.3.4		2						1				ラテン語 I ギリシャ語 I	2.3.4	2						1
		١	ギリシャ語 I	2.3.4		2						1				±°u≥∓∓ π	2.3.4	2						1
		外国	海外セミナー I	1-2-3-4		2		1		ĺ		ľ			か 国	[]. <u></u>	1.2.3.4	2		1		Ī		
		理	海外セミナーⅡ	1-2-3-4		2		1							理	海外セミナーⅡ	1-2-3-4	2		1				
		解	海外セミナーⅢ	1-2-3-4		2		1							角	/母/ドピー/ 出	1-2-3-4	2		1				
			海外セミナーⅣ	1-2-3-4		2		1								海外セミナーⅣ	1-2-3-4	2		1				
			外国理解 I	1-2-3-4		2		1								外国理解I	1-2-3-4	2		1				
			外国理解Ⅱ 外国理解Ⅲ	1-2-3-4		2		1								外国理解Ⅱ 外国理解Ⅲ	1-2-3-4	2		1				
			外国理解Ⅳ	1.2.3.4		2		1								外国理解IV	1-2-3-4	2		ľ				
			教養数学	1-2-3-4		2						1				教養数学	1-2-3-4	2						1
			数理科学	1-2-3-4		2						1				数理科学	1-2-3-4	2						1
			確率入門	1-2-3-4		2						1				確率入門	1-2-3-4	2						1
) 里	統計入門 情報倫理	1-2-3-4		2						1			数理	統計入門 情報倫理	1-2-3-4	2						1
			マルチメディア表現	1-2-3-4		2						2			-	マルチメディア表現	1-2-3-4	2						2
	∱ \$	青	ネットワーク演習	1-2-3-4		2						1			青報	ネットワーク演習	1-2-3-4	2						1
	3	ì	社会データ分析入門	1-2-3-4		2						1		:	分	社会データ分析入門	1-2-3-4	2						1
	1	予	プログラミング	1-2-3-4		2						3		1	野	プログラミング	1-2-3-4	2						3
			情報の科学	1-2-3-4		2						1				情報の科学	1-2-3-4	2						1
			情報と社会 情報総合演習	1-2-3-4		2						6				情報と社会 情報総合演習	1-2-3-4	2						
-			物質の科学	1-2-3-4		2						1				物質の科学	1-2-3-4	2						1
			地球の科学	1-2-3-4		2						1				地球の科学	1-2-3-4	2						1
			宇宙の科学	1-2-3-4		2						1				宇宙の科学	1-2-3-4	2						1
			生命の科学	1-2-3-4		2						1				生命の科学	1-2-3-4	2						1
	F	∄	環境の科学 科学技術史	1-2-3-4		2						1		L	自	環境の科学 科学技術史	1-2-3-4	2						1
	5	太	現代技術と社会	1-2-3-4		2						1		1	然	現代技術と社会	1-2-3-4	2						1
		分导	地球環境問題	1-2-3-4		2						2			分野	地球環境問題	1-2-3-4	2						2
	_	-,	自然環境と地理	1-2-3-4		2						1		-	-,	自然環境と地理	1-2-3-4	2						1
			動物行動学	1-2-3-4		2					1					動物行動学	1-2-3-4	2		1				
			健康科学 スポーツ工学	1-2-3-4		2						1				健康科学 スポーツ工学	1-2-3-4	2 2		1				1
			トレーニング科学	1-2-3-4		2						1				トレーニング科学	1-2-3-4	2		1				1
			歴史学	1-2-3-4		2						3				歴史学	1-2-3-4	2		f				3
			考古学	1-2-3-4		2						1				考古学	1-2-3-4	2						1
			地理学	1-2-3-4		2						2				地理学	1-2-3-4	2		1				2
	ż	±	社会学	1-2-3-4		2						2			<u>+</u>	社会学	1-2-3-4	2						2
	4	숮	政治学 経済学	1-2-3-4		2						1		:	社会分	政治学 経済学	1-2-3-4	2						1
	5	子 译	法学	1-2-3-4		2						1		1	分野	法学	1-2-3-4	2						1
	3	:1	経営学	1-2-3-4		2						1		-	=J	経営学	1-2-3-4	2						1
			憲法学	1-2-3-4		2						1				憲法学	1-2-3-4	2						1
			レクリエーション論	1-2-3-4		2						1				レクリエーション論	1-2-3-4	2						1
			ジェンダー論 哲学	1-2-3-4	$\vdash \vdash$	2				<u> </u>		2 3				ジェンダー論 哲学	1-2-3-4	2	-	1	-	<u> </u>		3
			20字 論理学	1-2-3-4		2						1				哲学 論理学	1-2-3-4	2						3 1
			宗教学	1-2-3-4		2						2				宗教学	1-2-3-4	2						2
			心理学	1-2-3-4		2		1	1							心理学	1-2-3-4	2					1	
			文化人類学	1-2-3-4		2						2				文化人類学	1-2-3-4	2		1				1
		L	現代の思想 民俗学	1-2-3-4		2						2 3			人	現代の思想 民俗学	1-2-3-4	2						2 3
	2	Ż.	スポーツ文化論	1-2-3-4		2						1		1 :	文	スポーツ文化論	1-2-3-4	2						1
	5	分野	日本事情I	1-2-3-4		2						1			分野	日本事情 I	1-2-3-4	2						1
•		•					. ,	-	•	•	. !	-	•		-1		, ,		•	•	•	•		

専門教育科目	必学	日本事情II 文字 日本典と論 学 日本典と 計画 を 学 語 が と 計画 と 計画 を 学 語 が と 計画 を を かりま を かりま を かりま で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	12234 12234 12234 12234 212234 212234 212234 212234 212234 212234 2134 21	2 2 8 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2	3 1		1 2 2 2 1 1 1 1 1 3 1 9 6 4 4 T 2 3 3 3 4 4 3 2 2 2	専門教育科目	必修 学部選	日本事情 I 文中 本事情 I 文中本事情 I 文中本事情 I 文中本典 一	2 1 3 4 4 2 3 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 8 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 3 3	2 1		1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 3 1 9 5 4 1 1 3 5 1 1 5 2 4 4 3 4 4 2 2 2
	学科必修	心理学学実験II 心理理学的アセスメント 心理理学学のアセスメント 心理理演演習II 心理演演習II 心理演演習II	3 1 2 1 2 1 3 3 3 4 4 4 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 2 2 2 2	3 3 1 3 3 3 3		1 1		学科必修	心理学実験II 心理理学的アを表示しい。 心理理学的アを表示しい。 心理理演演習II 心理演演習III 心理演演習IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	3 1 2 2 2 2 2 3 3 3 4 4 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 2 1 1 3 3 3 3 3	2 2 2 2 2		
専門教育科目	学科選択	知覚·認語学學 比底 完全 完全 完全 完全 完全 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型理療 一型型療 一型型 一型型 一型型 一型型 一型型 一型型 一	3前 3前 3前 3前 3前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 2		1 1 1 1	専門教育科目	学科選択	知覚・認知 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2前前後後前前前前前前後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 2 2		1 1 1 1 1 1
	小計(隣接・関連科目	4/科目) GIS概論 まちづくりとデータ分析 地域資源論 英米の地域と文化 多文化共生論 小計(5科目)	1 <mark>前</mark> 2前 3前		2 2 2 2 2				1 1 1 1		小計(隣接・関連科目	4/科目) GIS概論 まちづくりとデータ分析 地域資源論 英米の地域と文化 多文化共生論 小計(5科目)	1 <mark>前</mark> 2前 3前		2 2 2 2 2				1 1 1 1 1

合計 (215科目)

卒業要件及び履修方法

- (1) 共通数育科目 44単位以上
 - a 外国語分野 第1外国語8単位、第2外国語6単位、計14単位必修
 - b 数理·情報分野2単位、自然分野4単位、社会分野4単位、
 - 人文分野4単位の計14単位必修
 - d 体育分野 2単位必修
 - c bの各分野及び総合全体の中から計14単位必修
- 2) 専門教育科目 62単位以上
 - a 学部必修 10単位必修

 - b 学部選択必修 4単位必修 c 学科必修 20単位必修 d 学科選択 24単位修得

 - e 学部選択必修、学科必修、学科選択、人文社会学科科目から
- ③) 共通教育科目、専門教育科目及び隣接・関連科目の中から 18単位以上

(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

合計 (215科目) 卒業要件及び履修方法

- (1) 共通数育科目 44単位以上
 - a 外国語分野 第1外国語8単位、第2外国語6単位、計14単位必修
 - b 数理·情報分野2単位、自然分野4単位、社会分野4単位、 人文分野4単位の計14単位必修

 - c bの各分野及び総合全体の中から計14単位必修
 - d 体育分野 2単位必修
- 2) 専門教育科目 62単位以上
 - a 学部必修 10単位必修
 - b 学部選択必修 4単位必修

 - c 学科必修 20単位必修 d 学科選択 24単位修得
- e 学部選択必修、学科必修、学科選択、人文社会学科科目から 4単位修得
- (3) 共通教育科目、専門教育科目及び隣接・関連科目の中から 18単位以上

(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。

 - <u>1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入</u>してください。
 - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【平成30年度】

- 平成30年度カリキュラムの見直しに伴い、「Practical EnglishII」「ReadingII」を「選択」から「必修」に変更。 平成30年度授業計画策定(クラス増)により、「プログラミング」の担当教員の配置を「兼担1+兼任1」から「兼担1+兼任2」に変更。 平成30年度授業計画策定(クラス増)により、「情報総合演習」の担当教員の配置を「兼担1+兼任1」から「兼担1+兼任2」に変更。 平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「動物代表の記載と「兼規20日間を「推教授1」から「助教1」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(クラス増)により、「哲学」の担当教員の配置を「兼担1」から「兼担3」に変更。

- ・ 平成30年度授業計画策定 (グラス増)により、「名字」の担当教員の配置を「兼担1 新6 「兼担1 兼任2」に変更。
 ・ 平成30年度授業計画策定 (本務校都合)により、「民俗学」の担当教員の配置を「兼担1+兼任3」から「兼担1+兼任2」に変更。
 ・ 平成30年度授業計画策定 (学外研修)により、「古典の世界」の担当教員の配置を「兼担2+兼任1」から「兼担1+兼任1」に変更。
 ・ 平成30年度授業計画策定 (輪番担当科目)により、「文学部総合研究」の担当教員の配置を「兼担18」から「兼担12」に変更。
 ・ 平成30年度授業計画策定 (内容充実)により、「入門講義 (現代文化)」の担当教員の配置を「兼担4」から「兼担5」に変更。
 ・ 平成30年度授業計画策定 (内容充実)により、「入門講義 (歴史・地理学)」の担当教員の配置を「兼担4」から「兼担7」に変更。
- ・ 公認心理師法施行に伴い、「専門教育科目 学科必修」における次の科目名称を変更。 「心理学基礎実験 I 」→「心理学実験 I 」/「心理学基礎実験 I 」/「心理学実験 I 」/「心理アセスメント」→「心理的アセスメント」 「心理統計」→「心理学統計法」/「心理学史」→「心理学概論」/「心理学演習 I 」→「心理演習 I 」/「心理学演習 I 」 Ⅱ」/「心理学演習Ⅲ」→「心理演習Ⅲ」/「心理学演習Ⅳ」→「心理演習Ⅳ」
- ・平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「心理学概論(旧心理学史)」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に 変更
- 「専門教育科目 学科必修」における次の科目について、公認心理師を目標としない学生への対応・配慮から、 公認心理師法施行に伴い、
- ・公認心理師法施行に行い、「専門教育科目 子科必修」におりる次の科目について、公認心理師を目標としない子生への対応・能慮がら、 学科選択に移動し、一部科目名称を変更。 「認知心理学」→「知覚・認知心理学」/「行動心理学」→「学習・言語心理学」/「比較心理学(名称変更なし)」/「臨床心理学」→ 「臨床心理学概論」/「発達心理学(名称変更なし)」/「健康心理学」→「健康・医療心理学」 ・公認心理師法施行に伴い、「専門教育科目 学科選択」における次の科目について、統廃合及び名称変更。 「教育心理学」、「学校心理学」→「教育・学校心理学」/「生理心理学」→「神経・生理心理学」/「産業心理学」→「産業・組織心理
- ・平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「神経・生理心理学(旧生理心理学)」の担当教員の配置を「専任准教授1」から ・平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「神経・生理心理学(旧生理心理学)」の担当教員の配置を「専任准教授1」から
- 「兼任1」に変更.
- ・ 平成30年度授業計画策定(公認心理師法施行に伴う整理)により、「産業・組織心理学(旧産業心理学)」の担当教員の配置を「兼任1」 から「専任教授1」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(公認心理師法施行に伴う整理)により、「社会・集団・家族心理学(旧社会心理学)」の配当年次を「2前」か ら「3前」に変更。
- 公認心理師法施行に伴い、 「専門教育科目 学科選択」に次の科目を追加。
- 公認心理師法施行に行い、「専门教育特日 子科選択」に次の科目を追加。 人体の構造と機能及び疾病(2前 2単位)、感情・人格心理学(3前 2単位)、福祉心理学(3後 2単位)、司法・犯罪心理学(3後 2単位)、精神疾患とその治療(3後 2単位)、公認心理師の職責(4前 2単位)、関係行政論(4前 2単位)、心理実習(4通 2単位)公認心理師法施行に伴い、「専門教育科目 学科選択」に追加した科目について次のとおり担当予定を記載。 「人体の構造と機能及び疾病」の専任教員の配置を「准教授1」として追加。 「感情・人格心理学」の専任教員の配置を「教授1」として追加。

- 「福祉心理学」の専任教員の配置を「教授1」として追加。 「司法・犯罪心理学」の担当教員の配置を「兼任1」として追加。
- 「日本・北非心理子」が担当教員の配道を「報行」」として追加。 「精神疾患とその治療」の専任教員の配置を「教授1」として追加。 「公認心理師の職責」の専任教員の配置を「教授1」として追加。 「関係行政論」の専任教員の配置を「教授1」として追加。 「心理実習」の専任教員の配置を「教授1」として追加。

- 平成30年度カリキュラムの見直しに伴い、 「GIS概論」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。

【令和元年度】

- 「Practical EnglishⅡ」「ReadingⅢ」を設置計画時「選択」設定のところ、平成30年度カリキュラム見直しにより、「必修」に変更。 「基礎中国語Ⅰ」「基礎中国語Ⅱ」の担当教員の配置を設置計画時「教授2+兼担1+兼任3」のところ、令和元年度授業計画策定(担当者退 「教授2+兼任3」に変更。 職)により
- 令和元年度授業計画策定(過年度履修者実績)により、「中国語会話(初級)Ⅰ」「中国語会話(初級)Ⅱ」「中国語会話(中級)Ⅰ」 「中国語会話(中級)Ⅱ」を隔年開講に変更。 「プログラミング」の担当教員の配置を設置計画時「兼担1+兼任1」のところ、平成30年度・令和元年度授業計画策定(クラス増)により
- 「兼担1+兼任2」に変更。
- 「情報総合演習」の担当教員の配置を設置計画時「兼任2」のところ、平成30年度授業計画策定(クラス増)により、「兼担2+兼任4」とし、令和元年度授業計画策定(他学部授業調整)により、「兼担1+兼任4」に変更。 「動物行動学」の専任教員の配置を設置計画時「准教授1」のところ、平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)により「助教1」と
- し、令和元年度授業計画策定(任期満了)により、「教授1」に変更。 「哲学」の担当教員の配置を設置計画時「兼担1」のところ、平成30年度・令和元年度授業計画策定(教育の充実)により、「兼担3」に 変更.
- 「心理学」の担当教員の配置を設置計画時「教授1+准教授1」のところ、令和元年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「助教 1」に変更。
- 「文化人類学」の担当教員の配置を設置計画時「兼担1+兼任1」のところ、令和元年度授業計画策定(他学部時間割調整)により、「兼担
- 1」に変更。 「民俗学」の担当教員の配置を設置計画時「兼担1+兼任3」のところ、平成30年度授業計画策定(本務校都合)により、「兼担1+兼担2」 に変更。
- 「文学」の担当教員の配置を設置計画時「兼担1+兼任1」のところ、令和元年度授業計画策定(学外研修)により、「兼任1」に変更
- 「古典の世界」の担当教員の配置を設置計画時「教授1+兼担2+兼任1」のところ、平成30年度授業計画策定(学外研修)により、「教授1+ 兼担1+兼任1」とし、令和元年度授業計画策定(学外研修終了)により、「教授1+兼担2+兼任1」に変更。 「スポーツ実技 I 」の担当教員の配置を設置計画時「兼担3+兼任3」のところ、令和元年度授業計画策定(本務校都合)により、「兼担3+
- 兼任2」に変更。
- 「文学部総合研究」の担当教員の配置を設置計画時「教授1+兼担18」のところ、平成30年度授業計画策定(輪番制科目)により、「教授

- → 「教授3+准教授1」、 「教授2+准教授2(令和元年度)」 「心理演習I」 「比較心理学」:「准教授1」 授1」
- 「入門講義(現代文化)」の担当教員の配置を設置計画時「兼担4」のところ、平成30年度・令和元年度授業計画策定(教育の充実)により「兼担5」に変更。
- ・ 八人門講義 (歴史・地理学) 」の担当教員の配置を設置計画時「兼担6」のところ、平成30年度授業計画策定(教育の充実)により、「兼
- 担7」とし、令和元年度授業計画策定(退職)により、「兼担5」に変更。 「入門講義(欧米言語文化)」の担当教員の配置を設置計画時「兼担3」のところ、令和元年度授業計画策定(海外研修に伴う担当者変更)により「兼担3+兼任1」に変更。 「入門演習(心理学)」の担当教員の配置を設置計画時「教授2+准教授2」のところ、令和元年度授業計画策定(昇格)により「教授3+准
- 教授1」に変更。 「入門演習(歴史・地理学)」の担当教員の配置を設置計画時「兼担3」のところ、令和元年度授業計画策定(教育の充実)により、「兼
- 担3+兼任1」に変更。 『心理学基礎実験 I 」「心理学基礎実験 II 」の担当教員の配置を設置計画時「准教授3+兼任1(完成年度予定)」のところ、令和元年度授 業計画策定(昇格、時間割調整)により、変更後科目「心理学実験 I 」「心理学実験 II 」として「教授2+准教授2(令和元年度)」に変

- 「心理学史(心理学概論)」の担当教員の配置を設置計画時「准教授1」のところ、平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)によ
- り、「教授1」に変更。 「心理学演習Ⅰ」「心理学演習Ⅱ」「心理学演習Ⅲ」「心理学演習Ⅳ)」の担当教員の配置を設置計画時「教授2+准教授3」のところ、令 和元年度授業計画策定(昇格)により、変更後科目「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」「心理演習Ⅲ」「心理演習Ⅳ」として「教授3+准教授
- 公認心理師法施行に伴い、設置計画時における「専門教育科目 学科必修」各科目について、公認心理師を目標としない学生への対応・配
- 温めら、学科選択に移動し、一部科目名称を変更。 「認知心理学」→「知覚・認知心理学」/「行動心理学」→「学習・言語心理学」/「比較心理学(名称変更なし)」/「臨床心理学」→ 「臨床心理学概論」/「発達心理学(名称変更なし)」/「健康心理学」→「健康・医療心理学」 「比較心理学(比較心理学)」の担当教員の配置を設置計画時「准教授1」のところ、令和元年度授業計画策定(昇格)により、「教授
- 11 に変更。
- 「生理心理学」の担当教員の配置を設置計画時「准教授1」のところ、平成30年度・令和元年度授業計画策定(科研費事業の推進)によ り、変更後科目「神経・比較心理学」として「兼任」」に変更。 ・公認心理師法施行に伴い、設置計画時における「専門教育科目 学科選択」各科目について、統廃合及び名称変更。
- 「教育心理学」、「学校心理学」→「教育・学校心理学」/「生理心理学」→「神経・生理心理学」/「産業心理学」→「産業・組織心理学」/「応用行動分析」→「障害者・障害児心理学」/「心理療法」→「心理学的支援法」/「社会心理学」→「社会・集団・家族心理学」「社会心理学」の配当年次を設置計画時「2前」のところ、平成30年度授業計画策定(公認心理師法施行に伴う整理)により、変更後科目
- 「社会・集団・家族心理学」として「3前」に変更。
- ・公認心理師法施行に伴い、設置計画時における「専門教育科目 学科選択」に各科目を追加。 人体の構造と機能及び疾病(2前2単位)、感情・人格心理学(3前2単位)、福祉心理学(3後2単位)、司法・犯罪心理学(3後2単 位)、精神疾患とその治療(3後2単位)、公認心理師の職責(4前2単位)、関係行政論(4前2単位)、心理実習(4通2単位) ・公認心理師法施行に伴い、設置計画時における「専門教育科目学科選択」に各科目担当を予定。
- 「人体の構造と機能及び疾病」の担当教員の配置を「准教授1」のところ、令和元年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「兼任 1」に変更。
- 「感情・人格心理学」の専任教員の配置を「教授1」として予定。 「福祉心理学」の専任教員の配置を「教授1」として予定。 「司法・犯罪心理学」の担当教員の配置を「兼任1」として予定。
- 「明成・犯罪心理子」が担当教員の配置を「教授1」として予定。 「精神疾患とその治療」の専任教員の配置を「教授1」として予定。 「公認心理師の職責」の専任教員の配置を「教授1」として予定。 「関係行政論」の専任教員の配置を「教授1」として予定。 「心理実習」の専任教員の配置を「教授1」として予定。

- 「GIS概論」の配当年次を設置計画時「2前」のところ、平成30年度カリキュラムの見直しにより、 「1前」に変更

【令和2年度】

- 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 「Communicative English I」の兼担・兼任を「2」から「5」に変更。「Communicative English II」の兼担・兼任を「2」から「5」に変更。「Reading I」の兼担・兼任を「5」から「6」に変更。「TOEIC」の兼担・兼任を「5」から「6」に変更。「Practical English II」の単位数を「選択」から「必修」に変更。

- 平成30年度カリキュラム見直しの理由により、
- 「Reading II」の兼担・兼任を「5」から「8」に変更。
- ・ 平成30年度カリキュラム見直しの理由により、「Pri・ 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「Pri・ 平成30年度カリキュラム見直しの理由により、「Fi 増)により、兼担・兼任を「5」から「8」に変更。・ 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「Cor ・ 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「応・ 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「応・ 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「応・ 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「応・ 令和2年度授業計画策空(クラス増)により、「応・ 令和2年度授業計画策空(クラス増)により、「応・ 「ReadingⅢ」の単位数を「選択」から「必修」に変更、令和2年度授業計画策定(クラス
- 「Communication Skills I 」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。
- 「Communication SkillsII」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。 「応用中国語I」の兼担・兼任を「3」から「4」に変更。 「応用中国語I」の兼担・兼任を「3」から「4」に変更。

- 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス減)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、
- 「応用中国語』」の兼担・兼任を「3」がら「4」に変更。
 「入門ドイツ語I」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。
 「応用ドイツ語I」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。
 「応用韓国・朝鮮語I」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。
 「応用韓国・朝鮮語I」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。
- 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、 「プログラミング」の兼担・兼任を「2」から「3」に変更。
- 日本日本人では、インスへ相が、インスへ相が、「ためり、「インロングミング」の来担・兼任を「2」から「3」に変更。 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「情報総合演習」の兼担・兼任を「2」から「4」に変更。 担当者定年退職の理由により、「動物行動学」の専任教員等の配置を「1」から「なし」、兼担・兼任を「なし」から「1」に変更。 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「歴史学」の兼担・兼任を「3」から「4」に変更。 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「考古学」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。

- 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「呑石子」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「経済学」の兼担・兼任を「1」から「2」に変更。 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「哲学」の兼担・兼任を「1」から「3」に変更。 担当者変更の理由により、「心理学」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「助教1」に変更。 令和2年度授業計画策定(クラス減)により、「文化人類学」の兼担・兼任を「2」から「1」に変更。 令和2年度授業計画策定(クラス減)により、「文化人類学」の兼担・兼任を「2」から「3」に変更。

- 市和12年度授業計画策定(クラス増)により、「スポーツ・健康演習」の兼担・兼任を「9」から「10」に変更。 令和2年度授業計画策定(クラス増)により、「スポーツ実技 I」の兼担・兼任を「6」から「10」に変更。 令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「スポーツ実技 I」の兼担・兼任を「6」から「4」に変更。 令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「文学部総合研究」の兼担・兼任を「18」から「14」に変更。 専任教員の採用、昇格及び退職の理由により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3」から「教授4、准教授1、助教1」に
- 変更。 ・公認心理師法施行に伴うカリキュラム変更の理由により、「専門教育科目 学科必修」の以下授業科目の名称を変更。 「心理学基礎実験 I 」→「心理学実験 I 」 / 「心理学基礎実験 I 」→「心理学実験 I 」 / 「心理アセスメント」→「心理的アセスメント」 / 「心理統計」→「心理学統計法」 / 「心理学史」→「心理学概論」 / 「心理学演習 I 」→「心理演習 I 」 / 「心理学演習 II 」 / 「心理学 II 』 / 「心理学 II 」 / 「心理学 II 』 /
- Ⅱ」/「心理学演習Ⅲ」→「心理演習Ⅲ」/「心理学演習Ⅳ」→ 「心理演習Ⅳ」 「入門講義(現代文化)」の担当教員の配置を設置計画時「兼担4」のところ、平成30年度・令和元年度・令和2年度授業計画策定(教育 の充実)により「兼担5」に変更

- の充実)により「兼担5」に変更。
 専任教員昇格の理由により、「入門講義(心理学)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
 令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「入門講義(歴史・地理学)」の兼担・兼任を「6」から「5」に変更。
 令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「入門講義(歴史・地理学)」の兼担・兼任を「3」から「4」に変更。
 令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「入門演習(現代文化)」の兼担・兼任を「3」から「5」に変更。
 令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「入門演習(現代文化)」の兼担・兼任を「3」から「5」に変更。
 専任教員昇格及び退職の理由により、「入門演習(心理学)」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授4」に変更。
 令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「入門演習(歴史・地理学)」の兼担・兼任を「3」から「5」に変更。
 令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「入門演習(欧米言語文化)」の兼担・兼任を「2」から「4」に変更。
 専任教員昇格の理由により、「心理学実験 I 」「心理学実験 II」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授2、准教授1」に変更。
 専任教員昇格の理由により、「心理学実験 I 」「心理学表験 II 」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授2、准教授1」に変更。 から「1」に変更。 専任教員の採用、昇格及び退職の理由により、「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」「心理演習Ⅲ」「心理演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教
- ・ 専任教員の採用、昇格及び退職の理由により、「心理演習 I 」「心理演習 I 」「心理演習 II 」「心理演出、「学科選択」に変更、公認心理師法施行の理由により、「その内の一部授業科目の名称を変更。
 「認知心理学」→「知覚・認知心理学」→「健康・医療心理学」「「学習・言語心理学」/「比較心理学」/「臨床心理学」→「臨床心理学概論」/「発達心理学」/「健康心理学」→「健康・医療心理学」
 ・担当者昇格の理由により、「知覚・認知心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 ・専任教員昇格の理由により、「比較心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 ・公認心理師法施行に伴うカリキュラム変更の理由により、「専門教育科目 学科選択」次の授業科目を統廃合及び名称の変更。
 「教育心理学」、「学校心理学」→「教育・学校心理学」/「生理心理学」→「神経・生理心理学」/「産業心理学」→「産業・組織心理学」/「応用行動分析」→「障害者・障害児心理学」/「心理療法」→「心理学的支援法」/「社会心理学」→「社会・集団・家族心理学」公認心理師法施行に伴うカリキュラム変更の理由により、「専門教育科目 学科選択」に次の各授業科目と専任教員等の配置及び兼担・兼任を追加。

- 任を追加。

- 「人体の構造と機能及び疾病」(2前 2単位):「兼任1」/「感情・人格心理学」(3前 2単位):「教授1」/「福祉心理学」(3後 2単位):「教授1」/「高法・犯罪心理学」(3後 2単位):「兼任1」/「精神疾患とその治療」(3後 2単位):「兼任1」/「公認心理師の職責」(4前 2単位):「教授1」/「関係行政論」(4前 2単位):「教授1」/「心理実習」(4通 2単位):「教授1」・専任教員昇格の理由により、「認知科学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 ・公認心理師法施行に伴うカリキュラム変更の理由により、「社会・集団・家族心理学」の配当年次を「2前」から「3前」へ、専任教員の採用の理由により、専任教員等の配置を「なし」から「助教1」、兼担・兼任を「1」から「なし」に変更。
 ・令和2年度授業計画策定(担当者変更)により、「神経・生理心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「なし」、兼担・兼任を「1」から「なし」に変更。

- ・ 専任教員昇格の理由により、「心理技術実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
 ・ 専任教員昇格の理由により、「心理技術実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
 ・ 他学部カリキュラム変更の理由により、「GIS概論」の配当年次を「2前」から「1前」へ、クラス数増加の理由により、兼担・兼任を「1」から「2」に変更。
 ・ 公認心理師法施行に伴うカリキュラム変更の理由により、卒業要件及び履修方法の「(2) 専門教育科目 c学科必修」を「26単位必修」
- から「20単位必修」に変更。 ・公認心理師法施行に伴うカリキュラム変更の理由により、卒業要件及び履修方法の「(2) 専門教育科目 d学科選択」を「10単位修得」
- から「24単位修得」に変更。 公認心理師法施行に伴うカリキュラム変更の理由により、卒業要件及び履修方法の「(2)専門教育科目 e 学部選択必修、学科必修、学 科選択、人文社会学科科目から」を「12単位修得」から「4単位修得」に変更。
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

		設置	寺の計画								変更状態	況					備考
必修	必修 選択			由	計(A	١)	必	修		選択			自由		Ī	t	1
21	科目	187 科	0	科目	208	科目	23 [2	科目	1	192 5	科目]]	0 0	科目	215	科目 ']	

(注)・<u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	中国語会話(初級) I	1	1前	一般	選択	過年度履修者実績に伴い、隔年開講と したため。
2	中国語会話(初級) Ⅱ	1	1後	一般	選択	同上
3	中国語会話(中級) I	1	2前	一般	選択	同上
4	中国語会話(中級) II	1	2後	一般	選択	同上
5	コミュニケーション中国語 I A	2	3前	一般	選択	オンライン授業では当初予定していた 教育効果を十分発揮できない内容の科 目であるため、開講を見合わせた。
6	コミュニケーション中国語 I B	2	3後	一般	選択	同上
7	総合演習	2	2 • 3 • 4	一般	選択	同上
8	キャリアデザイン応用	2	2前	一般	選択	同上

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「中国語会話(初級) I 」「中国語会話(初級) II 」「中国語会話(中級) I 」「中国語会話(中級) II 」は、過去の履修者数動向から休講となることが多く、今後隔年開講とする旨授業計画を設定した。また、今年度はオンライン化授業に移行したものの、教育効果の観点で(3)の通り一部の科目が未開講となった。上記科目は、同じ科目群で複数科目を開講しているため、2020年度不開講であっても学生の履修計画等に大きな影響はない。これらの情報については、学内で利用しているシステム「ライブ・キャンパス」、学内の掲示板、履修ガイダンス用資料等で情報発信し、履修登録・履修計画に支障が出ないよう学生に事前周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容			備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する他 学校等の専			計	
		校 纟	豪敷 地	<u>h</u>		21, 698 r	nÎ	96, 750			0 m	î	118, 448 r	ทึ
校		運動	場用地	!		27, 199 r	nÎ	72, 846	mî		0 m	î	100, 045 r	m 愛知大学短期大学部
地		小	ī l	-		48, 897 r	n	169, 596	mi		0 m	î	218, 493 r	(必要面積2,000㎡) ポーと共用
等		そ	の他	!		2, 128 r	n ²	8, 78 7	m²		0 m	î	10, 915 r	ที่
₹		合	計	-		51, 025 r	n ²	178, 383	m²		0 m	î	229, 408 r	ที่
					専	用	共	用		共用する他 学校等の専			計	
(2) 校			舎			99, 160 r	n	29, 599	mi		0 m	î	128, 759 r	m ¹ 愛知大学短期大学部 (必要面積2,350㎡)
					(9	9, 160 m²)	(:	29,599 m ³)	(0	m³)	(128, 759 m)	と共用
				講	義室	演	習室	実験実	習室	情報処	理学習施	設 記	吾学学習施設	演習室2室を一般教育 研究室としたため
(3) 教	至	Ē	等		100 117	<u> </u>	DE 00 0E =		00 0 🖶		19 4	8 室	7 1	用に作う人数の増減
					122 117	至	35 83 85 室		23 9 室	(補助職	战員 14. 戦員 15 .		助職員 6人) 助職員 5人)	│ (元) 使用用途を変更したこ とによる増加 (2)
(4) 南	工 数	इस्मळ	安			新設学	部等の名称				室	数		
(4) ਚ	4)専任教員研究室					文学部	心理学科				8		室	
	新設学部等				書	学	析雑誌			視聴覚	資料 #	機械・器具	 標本	
(5)		設学部 の名和		〔う	ち外国書〕	(5±	外国書〕	電子ジャ	ーナル	1504050	2.11	ж III		
						m	租	〔うち外	·国書〕		点	1		点
				6, 11	2 [1, 702]		81 (60)		0 (0)		274 255 234	23, 21 20, 25	6 50	6機械・器具、標本については、大学全体での
図		文学部 2理学			7 [1, 701] 5 [1, 687]		(81 [60])		(0 [0])	(274)	(23, 216)	(16)	共用
書					2 (1, 682)		(01 (00) /		(0 (0) /	-(214	/	(20, 201)	- (10)	図書、視聴覚資料、機一械・器具を新規購入し
設備				6, 11	2 [1, 702]		81 (60)		0 (0)		274 255 234	23, 21 20, 25		たため(元)(2) 6
		計		-(5, 93)	7 [1, 701] 5 [1, 687] 2 [1, 682])	(81 [60])		(0 (0))	(274 -(255 -(214		(23, 216) (20, 201)	(16)	
(C) 150	=	₽	8¢		面	積		閲覧座	席数		収	納可	能冊数	閲覧座席数及び収納可
(6) 図	₫	=	館			12, 78	3 m²		1, 889	1, 850		1, 266	, 400 1, 261, 33	# 能冊数について、見直 5 しを行ったため(2)
(7) 体	Ě	Kir	館		面	積			体育館以	外のスポ-	ーツ施設	の概要		
(1) 4	F	,	MD			5, 60	3 ㎡ テニス	、コート7面、	プール1	面、ゴルフ	フ練習場	1面、弓道	場等	
			Þ	3	分	開設年度	完成年	度 区	分	開設前	年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は学部全
(8)	0	経費 の見 責り	教員 1	人当り	研究費等	500千日	500	千円 図書	購入費	1, 653	3千円	1, 761千 1, 712千 1, 653千	1,653 ← F	円体 図書購入費には電子 ージャーナル・データベースの整
経費の積り及			共 同	研	と 費 等	1,350千月	月 1,350	千円 設備	購入費	4, 000)千円	6,000千1	円 6,000千円	
維持方 の 概				第	1 年次	第2年2	(第	3年次	第4年	手次	第54	年次	第6年次	- 3 0。 - 図書購入費について、
		納付			1, 140千円	1, 000	千円	1,010千円	1, (020千円	-	- 千円	- 千日	円 学部内の配分を変更し 上たため(元)(2)
		学生	納付金	以外の紀	推持方法の	概要 私立	大学等経常	費補助金、雑	収入等					

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	愛	知 大	学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度		
<u>文学部</u>			^									
人文社会学科	4	290	-	1, 160	学士 (文学) 学士 (社会学)	1. 20	1. 21	平成30	平成17	愛知県豊橋市町 畑町字町畑1番 地の1	定員変更(△55)
<u>心理学科</u>	4	55	-	220	学士	0. 64	0.89		平成30	同上		
経済学部												
経済学科	4	330	_	1, 320	学士(経済学)	1. 14	1. 15		平成元	愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6		
国際コミュニケーション学部												
英語学科	4	115	-	460	学士	1. 13	1. 15		平成10	同上	T-*00 - 4	_
国際教養学科	4	115	_	460	学士 (国際教養学)	1. 12	1. 15		平成10	同上	平成30年4 名称変更	Ħ
法学部												
法学科	4	315	_	1, 260	学士	1. 13	1. 15		平成元	同上		
経営学部												
経営学科	4	250	_	1, 000	学士(経営学)	1. 12	1. 13		平成元	同上		
会計ファイナンス学科	4	125	_	500	学士(経営学)	1. 18	1. 20		平成17	同上		
現代中国学部												
現代中国学科	4	180	_	720	学士 ^{(現代中国} 学)	1. 13	1.16		平成9	同上		
地域政策学部												
地域政策学科	4	220	-	880	学士 (地域政策学)	1. 17	1. 15		平成23	愛知県豊橋市町 畑町字町畑1番 地の1		
大学全体	4	1, 995	_	7, 980	-	-	-	-	-	-		
大学の名称	愛	知 大	学 短	期 ブ	、学・音	部					備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	倍					
ライフデザイン総合学科	2	100	人 -	200	短期大学士 (ライフデ ザイン総 合)	1. 21	1. 19	-	平成17	愛知県豊橋市町 畑町字町畑1番 地の1		
大学全体	2	100	-	200	-	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

- (1)一① 担当教員表
- (1) 一② 担当教員表に関する変更内容

※個人情報を含む内容であることから掲載いたしておりません。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画					現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	3	0	0	7	0	6	1	0	2	9	0
(5)	(3)	(0)	(0)	(8)	(0)						
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	1	0	2	9	0	6	1	0	2	9	0
[2]	[△2]	[0]	[2]	[2]	[0]	[2]	[△2]	[0]	[2]	[2]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、
 - 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

<u>現在(報告時)の完成年度時の状況(C)</u> = 9 設置時の計画(A) 7 = 128.57 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) 9

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在 (報告時) の完成年度時の状況 (C') $= \frac{0}{0} = \text{#DIV/0!}$ 設置時の計画 (A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由 【該当なし】

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	n și	担当予定科目	後	任補記	充状》	兄	京	忧任辞退	【人	就任) の理(∄	
						_											
						-											
						-											
				(5)								2 /r ++ -+ .ll \n	n#=1	/ ->			
			合計	(D)							侈	後任補充状況	の集計	(E))		
	就任	を辞	退した教員数	担当科目	数の合計	(a) +	+ (b) + (c)	①の台	計数	(a)		②の合計	十数(b)		③の合計	上数(c)
				必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選	択	0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				Ē	+	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員	員氏名	時期	必修・選択・自由の	担	当予定科目	後	任補充物	犬況		括	辛任等	の理由		
					選択	Ē	動物行動学		1		H30. 4. 1付て	で本学で	文学部	別教として	就任後	、自
1	助教	下山 🕆	せいら	H31.3										. 31で契約:		更新
											(元)。KI	νщ⊸	慥口、	R2樋口→樋	ļЦ	
			合計	(F)						往	长任補充状況	の集計	(G))		
	辞任し	した教員数		担当科目	数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計	十数 (c))
	辞任した教員数			必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選	択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	1		人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				Ē	+	1	科目	計	1	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	1 A	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
'		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	由自	0 科目
		計	1	科目	計	1 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	1 _	14.00	%
(2)-②設置時の計画(A)	_	7 -	14.20	90

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	大状況	辞任等の理由				
			選択	動物行動学	2						
		牧授 樋口 義治	必修	心理学実験 I	1		R2. 3. 31付け70歳で定年退職 (2)				
- 1	1 教授		必修	心理学実験Ⅱ	1						
			必修	心理学概論	2						
			選択	産業・組織心理	学 ②						
合計						後任補充状況の集計					
辞任した教員数 担当科目数の合詞			† (a) + (b) + ((1) ①の合詞	计数(a)	②の合計数 (b) ③の合計数		·数 (c)			
			必修	3 科目	必修	0 1	科目 必修	3 科目	必修	0	科目
			選択	2 科目	選択	0 1	選択	2 科目	選択	0	科目
	1	人	自由	0 科目	自由	0 1	自由	0 科目	自由	0	科目
			計	5 科目	計	0 1	科目 計	5 科目	計	0	科目

- (注)・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

で情報発信し、履修登録・履修計画に支障が出ないよう学生に事前周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
届 出 時					
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	入学定員未充足の改善 に努めること。(文学 部心理学科)	指摘事項 (改善)		履行中	入学定員未充足について附 帯事項があるため、今後、 文学部において、入試制度 の具体的な改善策を検討し ていく。
調 (宜) 時	入学定員未充足の改善 に努めること。(文学 部心理学科)	指摘事項 (改善)		履行済	令和2年度の入試制度において、学部全体入試と学 科・コース別入試の定員割 合を変更し改善した。次年 度においても同様の入試体 制を継続し、入学定員充足 を改善していく。

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の客附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	公認心理師法施行に伴い、カリキュラムを変更したため、 以下の通り変更した。 (30)
専門教育科目の卒業要件単位数 62単位以上	・専門教育科目の卒業要件単位数 62単位以上
a 学部必修 10単位必修	a 学部必修 10単位必修
b 学部選択必修 4単位必修	b 学部選択必修 4単位必修
c 学科必修 26単位必修	c 学科必修 20単位必修
d 学科選択 10単位修得	d 学科選択 24単位修得
e 学部選択必修、学科必修、学科選択、 人文社会学科科目から 12単位修得	e 学部選択必修、学科必修、学科選択、 人文社会学科科目から 4単位修得

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - 学習・教育支援センターを置き、センターの一事業としてFDの取組みを行っている。 別紙「学習・教育支援センター規程」参照。
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和元年度は、豊橋センター委員会と豊橋・名古屋の合同センター委員会とを以下のとおり実施した。 第1回豊橋センター委員会: 4/25 出席委員 5名(欠席0名) 第2回豊橋センター委員会: 5/30 出席委員 5名(欠席0名) 第3回豊橋センター委員会: 7/11 出席委員 5名 (欠席0名) 第4回豊橋センター委員会: 9/19 第5回豊橋センター委員会: 11/28 出席委員 6名 (欠席0名) 出席委員 5名 (欠席0名) 第6回豊橋センター委員会: 2/13 出席委員 5名 (欠席0名)

第1回合同センター委員会: 4/25 出席委員13名 (欠席0名) 第2回合同センター委員会: 11/28 出席委員12名 (欠席1名) 第3回合同センター委員会: 2/13 出席委員12名 (欠席1名)

- c 委員会の審議事項等
 - 学習・教育支援センター規程第11条において、委員会の審議事項は次のとおり規定されている。 (センター委員会の審議事項)

第11条 センター委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの事業に関する事項
- (2) センターの予算・決算に関する事項
- (3) その他、センターの目的を達成するために必要な事項
- ② 実施状況
 - a 実施内容

[FD]

- ・ 学生による授業評価アンケート
- 授業改善報告書の作成
- 大学教育問題全学講演会の開催
- 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成

[SD]

職員SD研修会の開催

b 実施方法

[FD]

- 学生による授業評価アンケート:各学期1回ずつ、担当教員が最低1科目についてアンケートを実施し、結果をWebで公開。
- 大学教育問題全学講演会の開催: 毎年4月に全学部教員を対象に、毎回テーマを変えて学外からの講師を招いて講演会を開催。
- ・ 授業改善報告書の作成: 学外のFD研修に参加した教職員に報告書を作成してもらい、研修で得た各種情報等を学内教職員が 共有できるよう、ホームページ上で報告書を配信する。
- 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成: 学習・教育支援センター委員会から、学外のFD研修情報を教授会を通じてアナウンスし、 希望者に対する旅費等の助成を行う。

[SD]

- ・ 職員SD研修会の開催:年間2回テーマを設定し、講師を招き、講演を行う。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)

[FD]

学生による授業評価アンケート:
 春学期実施状況:全学専任教員224人中208人が実施、非常勤教員259人中245人が実施。
 秋学期実施状況:全学専任教員228人中204人が実施、非常勤教員285人中256人が実施。

- ・ 大学教育問題全学講演会の開催: 平成31年度は、「キャリア支援のあり方 「生きる・学ぶ・働く」と「多様な学び」の場 〜課外教育プログラム事例報告から〜」というテーマで4/11(木)に実施し、参加者100人。
- 授業改善報告書の作成:学外研修会に参加した教職員が報告書を作成、令和元年度は事務職員含め2件を報告。
- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成:令和元年度は12件程度紹介、内教員への助成件数2件。

[SD]

・ 職員SD研修会の開催: 第1回テーマ「メンタルヘルス研修~ラインケアから学ぶ職場全体でのケア~」、参加者は100名 第2回テーマ「ハラスメント防止研修 ~ダイバーシティを理解し、健全な組織をめざす~」、参加者 は114名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

[FD]

- 学生による授業評価アンケート: 集計結果に対して、分析等を各担当教員にコメントしてもらい、授業内容の改善につながるような仕組みを整えている。
- 大学教育問題全学講演会の開催:大学教育及び授業改善に関する実践例や研究報告の講演を通じてFD活動の推進を図っている。
- 授業改善報告書の作成: 教職員全員が学外研修の報告を閲覧できるよう、ホームページ上にアップしている。 これを授業改善の参考にする。
- 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成:よりよい授業のあり方を考察し、授業内容・教授法等の工夫・改善のための契機とする。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - 「② 実施状況」のとおり、毎年学期毎に実施。授業の終盤3回(令和元年度は、7/4~24、12/11~1/14)の内の1回を利用して、アンケートを実施。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - 「② 実施状況」のとおり、ホームページ上に実施結果と教員のコメントを公開し、学生も閲覧可能。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 【該当なし】 ※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。



- a 委員会の設置状況
- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・ 心理学科は、学問としての心理学に関わる教養・知識を提供することにとどまらず、実験・分析技術及び 実務的応用力を修得し、心理学を学んだ者として、多様な現代社会に生きる上で国際的に通用する人材を 養成するための教育課程を編成するという趣旨により設置された。この趣旨の通りに、平成30年4月から 心理学科を設置し、これまで滞りなく教育を実施している。入学者選抜について、文学部では、学科・コ ース別入試及び学科・コースを限定しない全体入試を含む選抜試験を計画通りに実施し、心理学科の入学 定員55名に対して、平成30年入試では31名、平成31年度入試では26名、令和2年度入試では49名の入学者 を得ている。なお、入学定員の不足数については、全体入試により入学した学生の中から補充する。当初 設置計画においては授業科目の概要について変更し、そこでは、平成29年9月に施行された公認心理師法 に基づき、公認心理師の取得に必要な授業科目を設置した。
- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・年1回公表しており、令和2年度は6月に公表を予定している。
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上で公開している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和3年度に大学基準協会の評価を受ける予定である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書(令和2年度)						
a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕						
《 a で「有」の場合》 b 公表(予定)時期 〔 調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降 〕 c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他() 〕]]					
《 a で公表「無」の場合》 d 公表しない理由 〔)					

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。